

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE



Applicant(s): KITO, Eiichi

Application No.:

Group:

Filed: January 22, 2002

Examiner:

For: ORDER ACCEPTING METHOD AND APPARATUS AND STORAGE MEDIUM

L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents
Box Patent Application
Washington, D.C. 20231

January 22, 2002
1259-0221P

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2001-013695	01/22/01

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: _____

MICHAEL K. MUTTER
Reg. No. 29,680
P. O. Box 747
Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment
(703) 205-8000
/rem

KITO, Eiichi

BSKB

703-205-8000

Jan. 22, 2002

1259-0220

10f1

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 1月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-013695

出 願 人

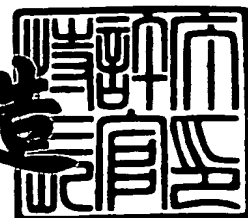
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

2001年 9月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3082562

【書類名】 特許願

【整理番号】 P20010122A

【提出日】 平成13年 1月22日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00 357

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 鬼頭 英一

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100075281

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 和憲

【電話番号】 03-3917-1917

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011844

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 注文受け付け方法及び装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 業者が提供するサービスを注文するための注文画面を表示手段に表示し、この注文画面の案内に従って、注文内容を特定する項目を指定させることにより、サービスの注文を受け付ける注文受け付け方法において、

前記注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から1つのサービスを選択するサービス選択領域と、選択されたサービスに応じた個別の項目を指定する個別項目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたことを特徴とする注文受け付け方法。

【請求項2】 前記サービスは、画像をプリントするプリントサービスであり、前記個別項目指定領域は、各プリントサービスに応じた項目を指定させる領域であり、前記共通項目指定領域は、複数の画像を表示して、その中からプリントする画像を指定させる領域であることを特徴とする請求項1記載の注文受け付け方法。

【請求項3】 前記複数のサービスは、複数の業者が提供するサービスであることを特徴とする請求項1又は2記載の注文受け付け方法。

【請求項4】 前記個別項目指定領域に表示する画面情報は、各業者毎に個別に設定されることを特徴とする請求項3記載の注文受け付け方法。

【請求項5】 前記注文画面で特定された注文内容に基づいて作成された注文情報を、通信回線を経由して各業者が保有する注文受け付け装置で受信してサービスの注文を受け付けることを特徴とする請求項1～4いずれか記載の注文受け付け方法。

【請求項6】 業者が提供するサービスを注文するための注文画面を表示する表示手段と、前記注文画面の案内に従って、注文内容を特定する項目を入力する手段と、入力された項目を記憶する手段とを備えた注文受け付け装置において

前記注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から1つのサービスを選択させるサービス選択領域と、選択されたサービスの個別の項目を指定する個別項

目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたことを特徴とする注文受け付け装置。

【請求項 7】 前記サービスは、画像をプリントするプリントサービスであり、前記個別項目指定領域は、各プリントサービスに応じた項目を指定させる領域であり、前記共通項目指定領域は、複数の画像を表示して、その中からプリントする画像を指定させる領域であることを特徴とする請求項 6 記載の注文受け付け装置。

【請求項 8】 前記複数のサービスは、複数の業者が提供するサービスであることを特徴とする請求項 6 又は 7 記載の注文受け付け装置。

【請求項 9】 前記個別項目指定領域に表示する画面情報は、各業者毎に個別に設定されることを特徴とする請求項 8 記載のサービス注文受け付け装置。

【請求項 10】 通信回線を経由して他の注文受け付け装置から送られる注文情報を受信する手段を備えたことを特徴とする請求項 6～9 いずれか記載の注文受け付け装置。

【請求項 11】 前記注文画面の情報を記憶する手段と、この情報を前記表示手段を有する端末に対して通信回線を経由して送信する手段と、前記端末で作成された注文情報を前記通信回線を経由して受信する手段とを備えたことを特徴とする請求項 6～10 いずれか記載の注文受け付け装置。

【請求項 12】 業者が提供するサービスの注文内容を特定するための注文画面を表示手段に表示するステップと、この注文画面で特定された注文内容に基づいて注文情報を作成するステップとを実行するプログラムを記憶した記憶媒体において、

前記注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から 1 つのサービスを選択するサービス選択領域と、選択されたサービスに応じた個別の項目を指定する個別項目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたことを特徴とする記憶媒体。

【請求項 13】 前記プログラムは、作成した前記注文情報を通信回線を経由して送信するステップを含むことを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、異なる内容の複数のサービスの注文を受け付ける注文受け付け方法および装置に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

写真プリント業者には、顧客の注文に応じて、写真フィルムを現像するとともに現像した画像を印画紙にプリントしたり、電子スチルカメラで撮影した画像を記録紙にプリントしたりする一般的な写真プリントサービスを提供する業者の他、イラストや写真などの画像を、Tシャツや、カップなどにプリントする特殊なプリントサービスを提供する業者がある。

【 0 0 0 3 】

これらの多様なプリントサービスを提供するためには、それぞれのサービスに応じて、専用の設備が必要となるが、一般的な写真プリントサービスと、特殊なプリントサービスとは、客層や各サービスに対する需要量が異なる。このため、設備投資に対する採算性を考慮すると、プリント業者1社で多種多様なプリントサービスを取り扱うことは、経営リスクが大きかった。

【 0 0 0 4 】

ところで、近年、インターネットの急速な発展により、通信回線を経由してオンラインで各種のサービスの注文を受け付けるオンライン取引が盛んに行われている。このオンライン取引では、サービスを提供する業者が、サービス案内情報とともに、そのサービスの注文情報を入力する注文画面を、自ら運営するウェブサイト内のウェブページに組み込むことによって、ネット上に公開する。ウェブサイトとは、ウェブページと、このページ情報を蓄積し送信するためのサーバーとからなる。ウェブページとは、複数のページをリンク情報により有機的に結合したものである。

【 0 0 0 5 】

このウェブページは、ウェブブラウザと呼ばれるソフトによって閲覧される。顧客は、ウェブブラウザがインストールされたパソコンなどの端末を使用して、

サービス提供業者のウェブサイトから、注文画面を読み出し、その画面の案内に従って、注文するサービス内容を指定して注文情報を作成する。作成された注文情報は業者に送られ、業者がこの注文情報を受け付けることにより、オンライン取引が成立する。

【0006】

ウェブサイトには、単独の業者によって運営されるサイトの他に、異なるサービスを提供する複数の業者によって共同で運営されるサイトがある。このようなウェブサイトは、複数の業者が店舗を構えたショッピングモールに類似していることから、ヴァーチャルショッピングモール（以下、ヴァーチャルモールという）と呼ばれる。このヴァーチャルモールでは、例えば、ウェブページ中のトップページにそのモールに加盟している業者のサービスの一覧が表示される。この一覧の中から、任意のサービスを選択すると、選択したサービスを提供する業者のページにジャンプする。このページには、そのサービスの案内情報や、そのサービス固有の注文画面が組み込まれている。選択したサービスを注文する場合には、その固有の注文画面からサービスの詳細な内容を指定し、注文情報を業者に対して送る。

【0007】

前述した一般的なプリントサービスを提供する業者と、特殊なプリントサービスを提供する業者とが、このようなヴァーチャルモールを共同で運営すれば、各業者は、経営リスクを回避しつつ、顧客の多様な要求に対応することができる。また、顧客にとっては、1つのモール上で多様なプリントサービスを注文することができるので、個々のサービス毎に業者を選択して注文する手間が省け、便利である。

【0008】

このヴァーチャルモールは、顧客のパソコンからアクセスできるようにしてもよいし、例えば、特開平11-102035号公報などに記載されている店頭設置型のプリント注文受け付け装置からアクセスできるようにしてもよい。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来のヴァーチャルモールでは、各サービスを選択した後は、選択したサービスを提供する業者の固有の注文画面が表示されていた。この場合、各業者の注文画面毎に、項目の指定方法や項目入力方法など操作方法が異なるため、顧客は、選択したサービス毎に、個々の注文画面に応じた操作をしなければならず、不便であった。また、同一の画像を異なる複数のサービスで使用する場合には、各サービス毎に画像の読み込みをする必要があり、不便であった。

【 0 0 1 0 】

本発明は、注文画面から行う異なる内容の複数のサービスの注文操作を、簡単にすることを目的とする。

【 0 0 1 1 】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、本発明の注文受け付け方法は、業者が提供するサービスを注文するための注文画面を表示手段に表示し、この注文画面の案内に従って、注文内容を特定する項目を指定させることにより、サービスの注文を受け付ける注文受け付け方法において、前記注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から1つのサービスを選択するサービス選択領域と、選択されたサービスに応じた個別の項目を指定する個別項目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 2 】

画像をプリントするプリントサービスに適用するのが好ましく、この場合には、前記個別項目指定領域を、各プリントサービスに応じた項目を指定させる領域とし、前記共通項目指定領域を、複数の画像を表示して、その中からプリントする画像を指定させる領域として使用するとよい。

【 0 0 1 3 】

前記複数のサービスを、複数の業者が提供する複数のサービスとしてもよい。この場合には、前記個別項目指定領域に表示する画面情報を、各業者毎が個別に設定できるようにするとよい。

【 0 0 1 4 】

前記注文画面で特定された注文内容に基づいて作成された注文情報を、通信回

線を経由して各業者が保有する注文受け付け装置で受信してサービスの注文を受け付けてもよい。

【 0 0 1 5 】

また、本発明の注文受け付け装置は、業者が提供するサービスを注文するための注文画面を表示する表示手段と、前記注文画面の案内に従って、注文内容を特定する項目を入力する手段と、入力された項目を記憶する手段とを備えた注文受け付け装置において、前記注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から1つのサービスを選択させるサービス選択領域と、選択されたサービスの個別の項目を指定する個別項目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 6 】

画像をプリントするプリントサービスに適用するのが好ましく、この場合には、前記個別項目指定領域を、各プリントサービスに応じた項目を指定させる領域とし、前記共通項目指定領域を、複数の画像を表示して、その中からプリントする画像を指定させる領域として使用するとよい。

【 0 0 1 7 】

前記複数のサービスを、複数の業者が提供するサービスとしてもよい。この場合には、前記個別項目指定領域に表示する画面情報を、各業者が個別に設定できるようにすることが好ましい。

【 0 0 1 8 】

通信回線を経由して他の注文受け付け装置から送られる注文情報を受信する手段を備えることが好ましい。

【 0 0 1 9 】

前記注文画面の情報を記憶する手段と、この情報を前記表示手段を有する端末に対して通信回線を経由して送信する手段と、前記端末で作成された注文情報を前記通信回線を経由して受信する手段とを備えることが好ましい。

【 0 0 2 0 】

また、本発明の記憶媒体は、業者が提供するサービスの注文内容を特定するための注文画面を表示手段に表示するステップと、この注文画面で特定された注文

内容に基づいて注文情報を作成するステップとを実行するプログラムを記憶した記憶媒体において、前記注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から1つのサービスを選択するサービス選択領域と、選択されたサービスに応じた個別の項目を指定する個別項目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたことを特徴とする。なお、前記プログラムには、作成した前記注文情報を通信回線を経由して送信するステップを含ませてもよい。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】

図1は、本発明が適用されるプリント業者のサービスネットワーク10の構成図である。このプリント業者のサービスネットワーク10は、異なる内容のプリントサービスを提供する複数のプリント業者A～Dによって共同で運営される。各プリント業者A～Dは、各プリント業者が提供する個々のサービスに応じた専用のプリント設備21～24を保有しており、各プリント業者A～Dの店舗には、顧客からのプリントサービスの注文を受け付ける各注文受け付け装置16A～16Dが設置されている。

【 0 0 2 2 】

各注文受け付け装置16A～16Dは、通信回線、例えば、インターネット17を介して接続されており、他の業者のサービスを受け付けた場合には、その業者の注文受け付け装置に対して、顧客からの注文情報を送る。このように、各注文受け付け装置16A～16Dは、注文情報を送受信するサーバーとしても機能し、これら各装置16A～16Dとインターネット17とからサービスネットワーク10のシステムが構成される。

【 0 0 2 3 】

これにより、顧客は、サービスネットワーク10内の1つの注文受け付け装置から、各プリント業者A～Dが提供するすべてのプリントサービスを注文することができる。なお、セキュリティ対策上、インターネット17を経由して送信するデータは、必要に応じて、暗号化されて送られる。

【 0 0 2 4 】

プリント業者Aは、例えば、現像した写真フィルムの画像や、電子スチルカメ

ラで撮影した画像を記録紙にプリントする一般的なプリントサービスを提供する業者である。この一般的なプリントサービスには、例えば、画像に対して、画質調整や濃度調整などの画像処理を施すと同時に、その画像を記録紙にプリントする「同時プリントサービス」、一度同時プリントした画像データを再プリントする「再プリントサービス」、予め登録されたテンプレートデータと画像データとを合成する「テンプレート合成サービス」などがある。プリント設備21は、この一般的なプリントサービスを提供するための設備である。

【0025】

これに対して、プリント業者B～Dは、特殊なプリントサービスを提供する業者である。プリント業者Bは、カップやTシャツなど記録紙とは異なるものにイラストや写真などの画像をプリントするサービスを専業としている業者である。プリント設備22は、カップやTシャツに画像をプリントする専用のプリンタを備えている。

【0026】

プリント業者Cは、複数の画像を複数枚のシートにプリントした上で、これをアルバム形態に製本するサービスを専業としている業者である。プリント設備23は、画像をプリントしたシートを製本するための専用の装置を備えている。

【0027】

プリント業者Dは、例えば、A2やA3サイズなどの特大サイズに、画像を引き延ばしてプリントする大伸ばしプリントサービスを専業とする業者である。プリント設備24は、特大サイズの記録紙にプリントするための専用のプリンタを備えている。

【0028】

図2は、注文受け付け装置16Aと、プリント業者Aが保有するプリント設備21の構成を示す。プリント設備21は、上述の一般的なプリントサービスを提供するための設備であり、例えば、現像された写真フィルムから画像を読み取り、画像データに変換するフィルムスキャナ26、テンプレートデータや画像データを蓄積するためのデータ保存装置27、画像を記録紙にプリントするプリンタ29、これら各部を制御するためのシステムコントロール装置31などからなる

。これらは、データを伝送するためのデータバス32を介して互いに接続されている。

【0029】

プリンタ29は、取り込んだ画像データに対して各種の画像処理を施す画像処理部29aと、処理された画像データを記録紙にプリントするプリント部29bとを備えている。画像処理部29aは、フィルムスキャナ26で取り込んだ画像データや、顧客が持ち込んだメモリーカードから取り込んだ画像データに対して、コントラスト調整や各色の濃度調整などの画質調整処理、BGRの画像データをYMCのプリント用画像データに変換するYMC変換処理などの画像変換処理、テンプレートと画像データとの合成処理など各種の画像処理を施す。

【0030】

プリント部29bは、画像処理が施された画像データを基に、記録紙に画像をプリントする。プリント設備21と注文受け付け装置16Aとは、データバス32を介して接続されており、オペレータがシステムコントロール装置31を操作して、注文受け付け装置16Aで受け付けた注文情報に応じてプリント処理をする。

【0031】

なお、図示しないが、プリント業者Bが保有するプリント設備22には、例えば、プリンタ29の代わりに、画像データをTシャツやカップにプリントするための特殊なプリンタが含まれており、プリント業者Cが保有するプリント設備23には、アルバム作成用のテンプレートデータや、画像をプリントしたシートを製本するための設備が含まれる。プリント業者Dが保有するプリント設備24には、プリンタ29の代わりに、大サイズの記録紙に画像をプリントするための特殊なプリンタが含まれる。

【0032】

各注文受け付け装置16A～16Dについて、図3に示す注文受け付け装置16Aを例に説明する。注文受け付け装置16Aは、CPU36、ディスプレイ37、ROM38、RAM39、VRAM41、カードリーダー42、HDD（ハードディスクドライブ）43、キーボード44、マウス46、通信制御装置47か

らなる。

【0033】

ディスプレイ37には、サービスの注文情報を入力するための注文画面51（図4参照）が表示される。顧客は、この注文画面の案内に従って、キーボード44やマウス46などのコマンド入力手段を使用して、注文情報を入力する。カードリーダー42は、例えば、スマートメディア（商品名）などのメモリーカードに記憶された画像データを読み取るためのもので、このカードリーダー42には、顧客が持ち込んだメモリーカードがセットされる。

【0034】

HDD43は、カードリーダー42が読み込んだ画像データを記憶する他、注文情報を作成するためのプログラム、作成された注文情報、ディスプレイ37に表示する画面情報などを記憶する。このHDD43には、プリント業者Aが提供するサービスに必要な情報が記憶される。同様に、各注文受け付け装置16B～16Dの各HDDには、各業者B～Dが提供するサービスに必要な情報がそれぞれ記憶される。

【0035】

通信制御装置47は、インターネット17に接続して、サービスネットワーク10内の他の業者B～Dの各注文受け付け装置16とデータを送受信するためのものであり、例えば、モデムカードやLANカード等が使用される。通信制御装置47は、セットされたアドレス情報に応じた相手先と接続して、データを送受信する。このアドレス情報も、HDD43に記憶される。

【0036】

ROM38には、マウス46やキーボード44などの入力手段から入力されたコマンドを、CPU36が処理するためのプログラムなどが書き込まれている。RAM39は、各種のプログラムを実行するための作業用のメモリである。

【0037】

VRAM41は、ディスプレイ37に注文画面を表示するための専用のメモリであり、第1～第3の各領域用のメモリ41a～41cと、表示メモリ41dとからなる。注文画面は、後述するように、表示内容が異なる3つの領域が設けら

れており、第1～第3の各領域用のメモリ41a～41cは、各領域に表示する画面を作成するためのメモリである。表示メモリ41dでは、第1～第3の各領域用メモリ41a～41c内の各画面情報が合成される。この表示メモリ41dで合成された注文画面がディスプレイ37に出力される。

【0038】

なお、ディスプレイ37に表示する画像は確認用の画像であるから、表示用の画像データとしては、低解像度の画像データを使用するとよい。これにより、表示速度を速くすることができる。画像ファイルには、本画像データの他にサムネイル表示用の画像データを含んでいるものがあるが、そのような場合には、このサムネイル表示用の画像データを、低解像度の画像データとして使用してもよい。もちろん、本画像データを解像度変換して低解像度の画像データを作成してもよい。この解像度変換は、例えば、CPU37で行うが、専用の解像度変換部を設けてもよい。

【0039】

注文受け付け装置16Aを立ち上げると、まず、ディスプレイ37には、顧客ID設定画面が表示される。例えば、注文受け付け装置16は、店舗の営業が開始されるときに立ち上げられる。

【0040】

この顧客ID設定画面で、来店した顧客が、名前、住所、電話番号などの顧客ID情報を入力すると、図4に示す注文画面51が表示される。なお、顧客が会員登録をした場合には、顧客に会員番号やパスワードを付与し、その会員番号等を入力させることで、名前や住所等の入力を省略できるようにしてもよい。

【0041】

この注文画面51は、サービス選択領域56、個別項目指定領域57、共通項目指定領域58の3つの領域からなる。この注文画面51は、GUI (Graphical User Interface) を採用しており、画面に表示されたボタンなどをマウスなどでクリックすることでコマンド入力ができる操作画面でもある。

【0042】

サービス選択領域56は、各プリント業者A～Dが提供する複数のサービス名

を一覧表示し、表示された複数のサービスの中から1つのサービスを選択させる領域である。個別項目指定領域57と共通項目指定領域58とは、選択したサービスの注文内容を特定するための項目を指定する領域であり、個別項目指定領域57は、選択されたサービスに応じた個別の項目を指定するために使用され、共通項目指定領域58では、各サービスに共通な項目を指定するために使用される。

【0043】

個別項目指定領域57に表示される画面は、各サービスに応じて個別に設定される。他方、共通項目指定領域58は、前記一覧表示された全てのサービスで共通な画面設定となる。この注文画面51上には、マウス46操作により画面上を移動するポインタ52が表示される。このポインタ52は、画面内の各部を指定するために汎用的に使用される。

【0044】

各領域56～58には、縦横それぞれに設けられたスクロールバー61、62と、領域のサイズを変更するサイズ変更ボタン63と、領域を閉じるための閉じボタン64とが設けられている。

【0045】

スクロールバー61、62は、各領域56～58に表示する画面をスクロールさせて、各領域56～58に一度に表示しきれない部分を見るために使用される。スクロールバー61の上下およびスクロールバー62の左右には、それぞれ、矢印ボタンが設けられており、この矢印ボタンを押下すると、各矢印の方向に画面がスクロールする。また、各スクロールバー61、62内には、スクロールボックスが設けられており、このスクロールボックスを移動させることで画面をスクロールさせることもできる。

【0046】

サイズ変更ボタン63には、図上「△」のマークで表示される最大化ボタンと、「▽」のマークで表示される最小化ボタンとがあり、最大化ボタンをクリックすると、1つの領域がディスプレイ37の画面一杯の大きさになる。その状態で最小化ボタンを押すと元のサイズに戻る。

【0047】

サービスの選択操作は、例えば、ポインタ52を、選択したいサービス名の上
に移動して、マウス46をクリックすることにより行われる。図5に示すよう
に、例えば、「3. テンプレート合成」が選択されると、他のサービス名と識別で
きるようにその文字がグレーがかって表示される。同時に、個別項目指定領域5
7には、テンプレート合成サービスの個別の注文内容を特定する画面が表示され
る。

【0048】

テンプレート合成サービスは、プリント業者Aが提供しているサービスである
ため、テンプレート合成サービスの画面情報は、プリント業者Aによって設定さ
れ、その情報はHDD43内に記憶される。テンプレート合成サービスが選択さ
れると、このHDD43から画面情報が読み出される。

【0049】

個別項目指定領域57には、まず、データ保存装置27内に予め登録された各
種のテンプレートが一覧表示される。テンプレートデータには、例えば、プリン
トするシートのサイズや画像を貼り込むコマのサイズやその個数が予め設定され
ている。このテンプレートデータを使用することで、簡単に画像合成が行われる
。テンプレートには、各種のものが用意されており、例えば、自動車免許申請や
パスポート申請に用いられる証明写真作成用のテンプレート、年賀状などポスト
カード作成用のテンプレート、プリクラ作成用のテンプレートなどがある。

【0050】

図5には、B5サイズの記録紙に、Cサイズ（89mm×127mm）のコ
マが2コマ設定されたテンプレート66、B5サイズの記録紙に、カードサイ
ズのコマが4コマ設定されたテンプレート67、自動車免許申請に使用される証明
写真作成用のテンプレート68、プリクラ作成用のテンプレート69が表示され
る。データ保存装置27内には、これら以外にも各種のテンプレートデータが保
存されており、画面をスクロールさせることにより、他のテンプレートを表示さ
せることができる。

【0051】

一覧表示された各テンプレート 6 6 ~ 6 9 のうちの 1 つには、カーソルが合うようになっており、カーソルが合ったテンプレートは、他のテンプレートと識別できるように表示される。図 5 上、カーソルはテンプレート 6 6 に合っているが、このテンプレート 6 6 は、例えば、その枠線が他のテンプレートよりも太く表示されるとともに、その内部がグレーがかって表示される。カーソルは、キーボード 4 4 の矢印キーやマウス 4 6 の操作によって移動する。テンプレートの指定は、カーソルを所望のテンプレートに合わせた状態で、マウス 4 6 をクリック操作したり、キーボード 4 4 のリターンキーを押下して行われる。

【 0 0 5 2 】

また、個別項目指定領域 5 7 の上方には、操作者に対して操作を促すメッセージや、無効な操作が行われた場合に警告をするメッセージなどが表示される。このテンプレートが一覧表示された画面では、例えば、「テンプレートを選んでください」というメッセージが表示される。

【 0 0 5 3 】

また、サービス選択がなされると、カードリーダー 4 2 が、セットされたメモリーカード内の画像データを読み出す。読み出された各画像 7 1 a ~ 7 1 f が、共通項目指定領域 5 8 に一覧表示される。この共通項目指定領域 5 8 内においても、一覧表示された各画像 7 1 a ~ 7 1 f のうちの 1 つの画像にカーソルが合うようになっており、カーソルが合った画像は、他の画像と識別可能に表示される。画像の指定は、テンプレートの指定と同様に、キーボード 4 4 やマウス 4 6 でカーソルを操作して行われる。このように、共通項目指定領域 5 8 は、各プリントサービスに共通指定項目であるプリント画像の指定をする領域として使用される。

【 0 0 5 4 】

図 6 に示すように、個別項目指定領域 5 7 において、例えば、テンプレート 6 6 を指定すると、画面が切り替わり、テンプレート 6 6 が拡大表示される。拡大表示されたテンプレート 6 6 には、設定された各コマのうちの 1 つにカーソルが合うようになっている。このカーソルは、画像が貼り込むコマを示すものであり、カーソルが合った貼り込み予定コマは、他のコマと識別可能に表示される。ま

た、テンプレート66が拡大表示された画面では、テンプレート66の上方に、「合成する画像を選んでください」というメッセージが表示される。このメッセージに従って、共通項目指定領域58から合成する画像が指定される。

【0055】

画像71aにカーソルを合わせた状態でリターンキーを押下したり、マウス46で画像71aをクリックすると、図7に示すように、画像71aがテンプレート66に貼り込まれる。画像71aが最初のコマに貼り込まれると、テンプレート66内のカーソルが次のコマに移動する。この状態で、次の画像、例えば、画像71eを指定すると、図8に示すように、次のコマに画像71eが貼り込まれる。

【0056】

合成画像の上には、「画像を確認したらリターンキーを押してください」などのメッセージが表示される。リターンキーを押下すると、プリント枚数を指定する画面に切り替わる。ここで、プリント枚数を指定すると注文内容が確定され、図9に示すように、注文内容確認画面74が表示される。この画面74では、例えば、使用するテンプレート、プリント枚数、合成する画像、料金などが表示される。合成する画像の欄には、「下記参照」と表示され、共通項目指定領域58に、合成する画像として指定した画像71a、71eだけが表示される。

【0057】

また、注文内容確認画面74内の下方には、「この内容でいいですか」というメッセージとともに、「YES」と「NO」のボタンが表示される。「NO」をクリックすると、初期画面に戻り、サービス選択から再開する。

【0058】

「YES」をクリックすると、注文内容が確定して、確定した内容に基づいて注文情報ファイルが作成される。この注文情報ファイルには、顧客ID情報とともに、指定したテンプレートの番号、プリント枚数や、指定された画像ファイルの番号など注文内容を指定する情報が含まれる。注文情報ファイルが作成されると、そのファイルに関連づけられた画像のデータがメモリーカードからHDD43にコピーされる。注文情報ファイルは、画像データとともに、HDD43に

記憶される。これにより、注文の受け付けが完了する。注文の受け付けが完了すると、ディスプレイ 37 には、注文したプリント画像が完成する日時や、「ありがとうございました。またのお越しをお待ちしております。」などの表示がなされる。

【0059】

注文受け付け装置 16 で注文が受け付けられると、例えば、システムコントロール装置 31 のモニタには、注文依頼が入った旨の表示がなされる。この表示をもとにオペレータは、注文情報ファイルに基づいてプリント処理をする。プリント処理は、注文受け付け装置 16 からの注文が入る毎に行ってもよいし、例えば、1 日の終わりにその日に受け付けた注文を一括して処理するようにしてもよい。また、予め設定した所定量の注文がなされた時に、自動的にプリント処理が開始されるようにしてもよい。

【0060】

次に、図 10 に示すように、サービス選択領域 56 で、「6. カップにプリント」を選択すると、個別項目指定領域 57 には、そのサービスに応じた画面が表示される。「カップにプリント」サービスは、プリント業者 A が提供するサービスに含まれていないので、画面情報は、そのサービスを提供するプリント業者 B によって設定される。この画面情報は、プリント業者 B の店舗に設置される注文受け付け装置 16 B 内の HDD に保存されている。このため、プリント業者 A の注文受け付け装置 16 A は、インターネット 17 を介して、注文受け付け装置 16 B から、前記画面情報を読み出し、その情報を個別項目指定領域 57 に表示する。

【0061】

注文受け付け装置 16 B には、プリント対象であるカップの画像が予め複数保存されており、「カップにプリント」の画面では、まず、それらの画像が一覧表示（図示せず）される。この中から 1 つのカップを指定すると、図 10 に示すように、指定したカップの画像 76 が拡大表示される。「カップにプリント」サービスが選択されると、「テンプレート合成」と同様に、共通項目指定領域 57 にはメモリーカード内の画像の一覧が表示される。

【0062】

図11に示すように、この中からプリントしたい画像、例えば、画像71dを指定すると、個別項目指定領域57には、カップ画像76に画像71dが貼り込まれた合成画像78が表示される。共通項目指定領域57における画像の指定操作は、「テンプレート合成」を選択した場合と同様である。

【0063】

個別項目指定領域57には、この合成画像78とともに、例えば、指定ボックス81が表示される。指定ボックス81には、位置調整ボタン81a、サイズ変更ボタン81bが設けられている。また、合成画像78の上方には、「画像のプリント位置や、サイズを調整してください。確認後リターンキーを押下してください。」などのメッセージが表示される。

【0064】

画像のプリント位置を調整する場合には、位置調整ボタン81aをクリックすると、例えば、カップ画像76に貼り込まれた画像79の枠が太線で表示される。この状態で、ポインタ52を画像79に合わせて、マウス46でドラッグ操作すると、画像79が移動する。画像のプリントサイズを変更したい場合には、サイズ変更ボタン81bを押下し、位置調整71dと同様に画像79の枠を太線で表示させ、その状態で、ポインタ52を太線で表示された枠に合わせて、マウス46によるドラッグ操作をすると、画像79のサイズが変更される。これら指定したプリント位置の情報や、サイズ情報は、注文情報ファイルに書き込まれる。

【0065】

所望のプリント位置、プリントサイズに調整できたら、リターンキーを押下すると、「カップにプリント」サービスの注文内容確認画面が表示される。その内容でよい場合には、再度リターンキーを押下して、注文内容を確定する。注文内容が確定されると、顧客ID情報、プリント位置、プリントサイズ、指定された画像の番号などを含む注文情報ファイルが作成される。

【0066】

この注文情報ファイルは、指定された画像のデータとともに、インターネット17を経由して、注文受け付け装置16Bに送られる。注文受け付け装置16B

は、注文情報および画像データを受信して、それらに問題がなければ、受け付けを完了した旨の通知をプリント業者Aの注文受け付け装置16Aに送信する。注文受け付け装置16Aは、この受け付け完了通知をディスプレイ37に表示する。この受け付け完了通知には、プリントが完成する日時や、「ご注文ありがとうございました」などのメッセージが含まれる。

【0067】

また、注文受け付け装置16Bへ送信した注文情報ファイルおよび、そこから受信した受け付け完了通知は、注文受け付け装置16Aにも保存される。このデータは、後日、プリント業者Aとプリント業者Bとの間の代金決済のために使用される。

【0068】

次に、サービス選択領域で「5. アルバム作成」を選択した場合には、プリント業者Cの注文受け付け装置16Cから、画面情報を読み出し、その情報を個別指定領域57に表示する。

【0069】

図12に示すように、アルバム作成サービスの項目指定画面84には、シートのサイズ、シート内のコマ数、コマのサイズ、両面プリントの指定、プリントする画像の選択などの各項目が表示される。シートのサイズ、シート内のコマ数、コマのサイズの各表示の横には、各項目を指定する入力ボックス85a～85cが表示される。

【0070】

この入力ボックス85a～85cの端にはリスト表示ボタンが設けられており、このリスト表示ボタンを押すと、メニューリストが表示されるようになっている。このメニューリストには、例えば、入力ボックス85aの場合には、A4サイズ、A5サイズ、B5サイズなどの各シートサイズが表示される。このメニューリストの中から所望のサイズ、例えば、A5サイズを指定すると、そのサイズが入力ボックス85aに表示される。シート内のコマ数、コマのサイズなどの各項目も、同様の操作により、指定される。

【0071】

また、両面プリントの指定は、「する」又は「しない」の各チェックボックス 87のいずれかにチェックマーク 88をつけることにより行われる。両面プリントを「する」を指定した場合には、シートの両面に画像がプリントされる。

【0072】

メモリーカードから読み出されたすべての画像を指定する場合には、「全コマ」の横のチェックボックス 87をクリックして、チェックマーク 88をつける。一部の画像を指定する場合には、「一部」の横のチェックボックス 87をクリックする。「一部」にチェックマーク 88がつけられると、入力ボックス 91がアクティブになる。共通項目指定領域 58から画像を指定すると、入力ボックス 91に指定した画像の番号が表示される。この共通項目指定領域 58内の画像の指定操作は、上述した他のサービスと同様である。

【0073】

すべての指定が終了したら、項目指定画面 84の内容を確認して、リターンキーを押下する。リターンキーが押されると、これらの注文内容と同時に、料金が表示される。その注文内容でよい場合には、リターンキーを押して注文内容を確認する。

【0074】

注文内容が確定されると、その内容に応じた注文情報ファイルが作成される。この注文情報ファイルおよび指定された画像データは、注文受け付け装置 16Cへ送られる。プリント業者Cは、これらのファイルおよびデータを受信して注文を受け付ける。受け付けを完了した場合には、注文受け付け装置 16Aに対して受け付け完了通知を送信する。注文受け付け装置 16Aは、この受け付け完了通知を受信して、ディスプレイ 37に表示する。同時に、送信したファイルおよびデータと、受信した受け付け完了通知をHDD 43内に記憶する。

【0075】

また、「7. Tシャツにプリント」サービスが選択された場合にも、注文受け付け装置 16Cから画面情報が読み出され、その情報が個別項目指定領域 57に表示される。顧客は、その画面の案内に従って注文内容を指定する。指定された注文内容は注文情報ファイルとして、指定された画像のデータとともに、注文受

け付け装置 1 6 C に送られて、注文が受け付けられる。また、「4. 大伸ばしプリント」サービスが選択された場合には、注文受け付け装置 1 6 D から画面情報が読み出され、その画面情報に従って、注文が受け付けられる。

【 0 0 7 6 】

各プリント業者 A ～ D は、注文を受け付けると、各々のプリント設備 2 1 ～ 2 4 を使用して、受け付けた注文内容に応じたプリント処理を行う。プリント処理が終了すると、プリント業者 A 以外の各プリント業者 B ～ D は、注文の品をプリント業者 A の店舗に配送する。各業者 A ～ D の間の代金決済は、注文情報などに基づいて行われる。

【 0 0 7 7 】

これにより、プリントを注文した顧客は、プリント業者 A が提供するサービスを依頼した場合はもちろん、他のプリント業者 B ～ C が提供するサービスを依頼した場合でも、納品および代金の支払いを、プリント業者 A の店舗ですることができる。

【 0 0 7 8 】

なお、注文受け付け装置 1 6 A から注文する例で説明しているが、各注文受け付け装置 1 6 B ～ 1 6 D から注文する場合も同様であるので、説明を省略する。

【 0 0 7 9 】

以下、図 1 3 に示すフローチャートを参照しながら、本発明の作用を説明する。顧客は、各注文受け付け装置 1 6 A ～ 1 6 D のいずれかから、サービスの注文をする。まず、顧客 ID を入力すると、注文画面 5 1 が表示される。サービス選択領域 5 6 で、サービスを選択すると、個別項目指定領域 5 7 に選択したサービスに応じた注文内容を指定する画面が表示される。選択されたサービスが、当該注文受け付け装置が設置されている店舗で提供されているサービスでない場合には、通信回線 1 7 を経由して、画面情報を読み込み、その画面を表示する。選択されたサービスが、前記装置 1 6 が設置されている店舗で提供されるサービスである場合には、HDD 4 3 から画面情報を読み込み、その画面を表示する。

【 0 0 8 0 】

また、サービスが選択されると、メモリーカード内の画像が読み出され、それ

らの画像が共通項目指定領域 5 8 に一覧表示される。この個別項目指定領域 5 7 に表示された注文内容を指定する画面から、その案内に従って、注文内容を指定する。プリントする画像の指定については、選択したサービスに関わらず、共通項目指定領域 5 8 から同じ操作で指定される。このように、各サービスで共通の指定項目については、同じ表示、同じ操作で指定されるから、注文内容を特定する項目指定操作が簡便になる。

【 0 0 8 1 】

注文内容を確定すると、注文情報ファイルが作成され、注文の受け付けが完了する。選択したサービスが他の業者のサービスである場合には、注文情報ファイルはその業者に送られて、注文受け付けが完了する。注文を受けた各業者は、注文内容に応じたプリント処理をする。他の業者を介して注文が受け付けられた場合には、仲介した業者の店舗に注文の品が配送され、顧客に引き渡される。

【 0 0 8 2 】

また、上記例では、サービス選択をしたときにメモリーカードから画像が読み出される例で説明したが、注文画面 5 1 を表示する時に、画像の読み出しをしてもよい。こうすれば、図 1 4 のフローチャートに示すように、複数のサービスを続けて注文する場合には、1 つ目以降のサービスを注文する時に、再度、画像の読み込みをする必要がない。このため、操作が簡単になるとともに、画像読み込み時間の短縮にもなる。

【 0 0 8 3 】

上記例では、他の業者が提供するサービスが選択された場合には、個別項目指定領域に表示する画面情報を、通信回線を介して選択されたサービスを提供する業者から読み出しているが、各業者が個別に設定した画面情報を予め、各業者の注文受け付け装置に登録しておいてもよい。こうすれば、サービス選択時に、画面情報を他業者から読み出さずに済むので、個別項目指定領域の表示速度を速くすることができる。

【 0 0 8 4 】

また、他の業者が提供するサービスが選択された場合には、注文情報及び画像のデータを、注文内容を確定した時点でリアルタイムで送信しているが、リアル

タイムで送信しなくてもよく、後から、まとめて複数の注文情報を送るようにしてもよい。

【0085】

また、上記例では、通信回線としてインターネットを使用して、各サーバ間を接続しているが、通信回線としては、公衆電話網や専用回線を使用してもよい。これらは、コスト面や、送信するデータの機密性などを考慮して適宜選択される。

【0086】

また、各業者のサーバ間は、通信回線で接続されていなくてもよく、各プリント業者が、各自の注文受け付け装置で受け付けた注文情報のうち、他の業者に対する注文情報を、MO、DVD、CD、FDなどの記憶媒体に記憶させ、この記憶媒体を他の業者に対して郵送や宅配などによって配送するようにしてもよい。

【0087】

また、上記例では、各プリント業者の店舗に設置した注文受け付け装置を顧客が直接操作して注文する例で説明したが、すべての注文受け付け装置を顧客が直接操作できるようにしておかなくてもよく、顧客が直接操作することができず、顧客によって直接操作される注文受け付け装置を介した注文のみを受け付ける注文受け付け装置を設置してもよい。

【0088】

また、顧客が店舗内の注文受け付け装置を直接操作して注文しなくてもよく、例えば、図15に示すように、顧客のパソコン96からインターネット17経由でサービスネットワーク10内の各注文受け付け装置16A～16Dに接続して、注文できるようにしてもよい。

【0089】

この場合には、各注文受け付け装置16A～16Dに、注文画面をウェブページの形式で組み込んでおき、各装置16A～16Dをウェブサーバーとして利用する。これにより、サービスネットワーク10内の各業者によるヴァーチャルモールがネット上に構成される。顧客は、パソコン96に予めインストールしたウェブブラウザを立ち上げて、例えば、注文受け付け装置16AのURLアドレス

を指定する。これにより、インターネット17を介して、注文受け付け装置16Aにアクセスし、そこからウェブページを読み出して、注文画面をウェブブラウザに表示する。

【0090】

このウェブページのトップページには、例えば、サービスネットワーク10内の各プリント業者が提供しているすべてのサービスの案内情報などが記載される。このトップページ上に、例えば、「プリント注文をする」というボタンを表示させておき、このボタンをクリックすると、注文画面が読み出されるようにしておく。

【0091】

この注文画面は、上述のとおり、サービス選択領域、個別項目指定領域、共通項目指定領域の3つの領域に分けて表示される。顧客は、この画面の案内に従って各項目を指定する。注文内容を確定すると、その注文情報及びパソコン96内の指定した画像データが、注文受け付け装置16Aに送信される。注文が受け付けられると、注文受け付け装置16Aから受け付け完了通知が送られて、ウェブブラウザ上に表示される。

【0092】

また、上記例では、複数の業者が提供する複数のサービスの中から1つのサービスを選択させる例で説明しているが、複数の業者でなくてもよく、1業者が提供する複数のサービスの中からサービスを選択させるものでもよい。この場合には、1業者内の異なるサービスを提供する複数の店舗毎に注文受け付け装置を設置し、これらを通信回線で接続してネットワークを構成してもよい。

【0093】

また、複数の注文受け付け装置でネットワークを構成する例で説明したが、ネットワークを構成しなくてもよく、複数のサービスを提供する店舗に1台の注文受け付け装置を設置し、これをスタンドアロンで使用してもよい。この場合でも、注文画面は、各サービス毎の項目を指定する領域と、共通な項目を指定する領域とに分かれて表示されるので、顧客の項目指定操作を簡便にするという効果が生じる。

【0094】

また、市販のパソコンを注文受け付け装置として使用してもよい。この場合には、上記注文画面を表示するステップと、この注文画面で特定された注文内容に基づいて注文情報を作成するステップと、この作成した注文情報を通信回線を経由して前記ネットワーク内の他の注文受け付け装置に送信するステップとを実行するプログラムを記憶媒体（CDなど）に記憶させる。この記憶媒体を使用して前記プログラムソフトをパソコンにインストールする。これにより、市販のパソコンを注文受け付け装置として使用することができる。

【0095】

また、顧客のパソコンに前記プログラムをインストールしてもよい。こうすれば、ウェブブラウザを使用することなく、プリントサービスの注文をすることができる。また、注文画面を予めプログラムに組み込んでおけば、業者のサイトから注文画面情報をダウンロードする時間を短縮することができる。

【0096】

プリントサービスを提供する業者を例に説明したが、プリント業者に限らず、他の各種サービス業者にも適用することができる。このサービスには、請負など労務供給型のサービスの他、例えば、衣類販売など商品販売サービスなども含まれる。

【0097】

この衣料品販売業者、例えば、下着を販売する業者と下着以外の衣類を販売する業者とがサービスネットワークを構成した場合には、注文画面の共通項目指定領域を、身長、バスト、ウエスト、ヒップなどの各サイズを指定させる領域として使用する。他方、個別項目指定領域では、商品の色や形を指定する領域として使用する。こうすることで、各サービス毎にサイズを指定する手間が省けるので、操作が簡便になる。各業者は、顧客が入力したサイズ情報から、最適なサイズを選択して商品を提供する。衣料品などの場合には、S、M、Lなどのサイズ表示が同じでもメーカー毎に大きさが異なる場合が多いので、顧客にとっては、メーカー毎にサイズを確認する手間が省け、便利である。

【0098】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明は、業者が提供するサービスを注文するための注文画面を表示手段に表示し、この注文画面に、異なる内容の複数のサービスの中から1つのサービスを選択するサービス選択領域と、選択されたサービスに応じた個別の項目を指定する個別項目指定領域と、各サービスに共通な項目を指定する共通項目指定領域とを設けたから、注文画面から行う異なる内容の複数のサービスの注文操作を、簡単にすることができる。

【0099】

また、前記注文画面から、複数の業者が提供する複数のサービスを注文できるようにすれば、各業者は、それぞれが全てのサービスを提供するための専用設備を用意しなければならないという経営リスクを回避しつつ、顧客の多様なニーズに対応することができる。

【0100】

また、前記個別項目指定領域に表示する画面情報は、各業者毎に個別に設定できるから、サービス内容の変更に伴って、各業者が柔軟な対応をすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

プリント業者のサービスネットワークの構成図である。

【図2】

プリント業者が保有するプリント設備の構成図である。

【図3】

注文受け付け装置の構成を示すブロック図である。

【図4】

注文画面の初期状態を示す説明図である。

【図5】

テンプレート合成サービスを選択した時の注文画面を示す説明図である。

【図6】

1つのテンプレートを指定した時の注文画面を示す説明図である。

【図 7】

テンプレートの 1 コマに画像を貼り込んだ時の注文画面を示す説明図である。

【図 8】

テンプレートの全てのコマに画像を貼り込んだ時の注文画面を示す説明図である。

【図 9】

テンプレート合成サービスの注文内容確認画面を示す説明図である。

【図 10】

カップにプリントサービスを選択した時の注文画面を示す説明図である。

【図 11】

カップ画像に画像を貼り込んだ時の注文画面を示す説明図である。

【図 12】

アルバム作成サービスを選択した時の注文画面を示す説明図である。

【図 13】

注文受け付け装置を使用した注文受け付け手順を示すフローチャートである。

【図 14】

複数のサービスを続けて注文する場合の手順を示すフローチャートである。

【図 15】

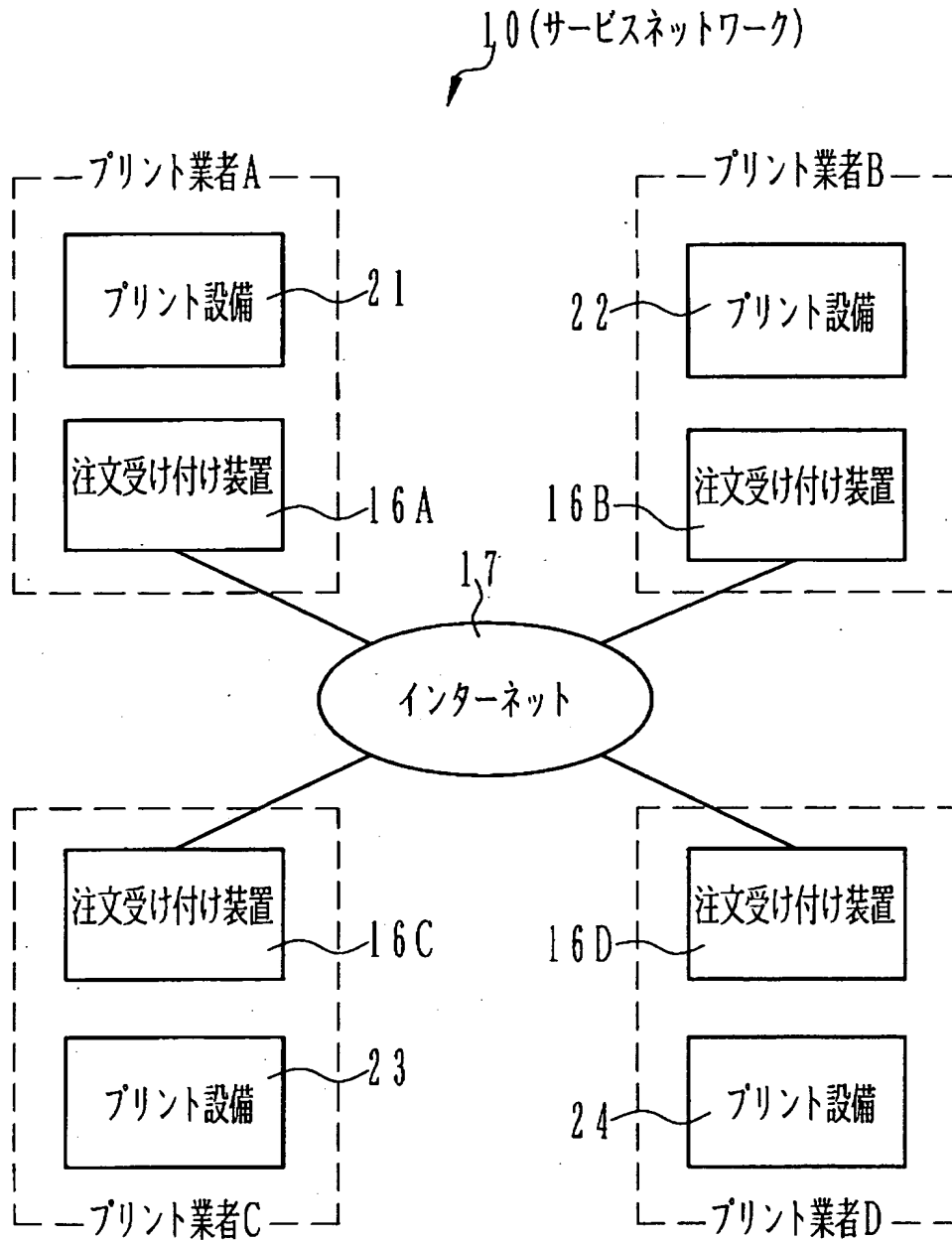
サービスネットワークとパソコンとの接続構成図である。

【符号の説明】

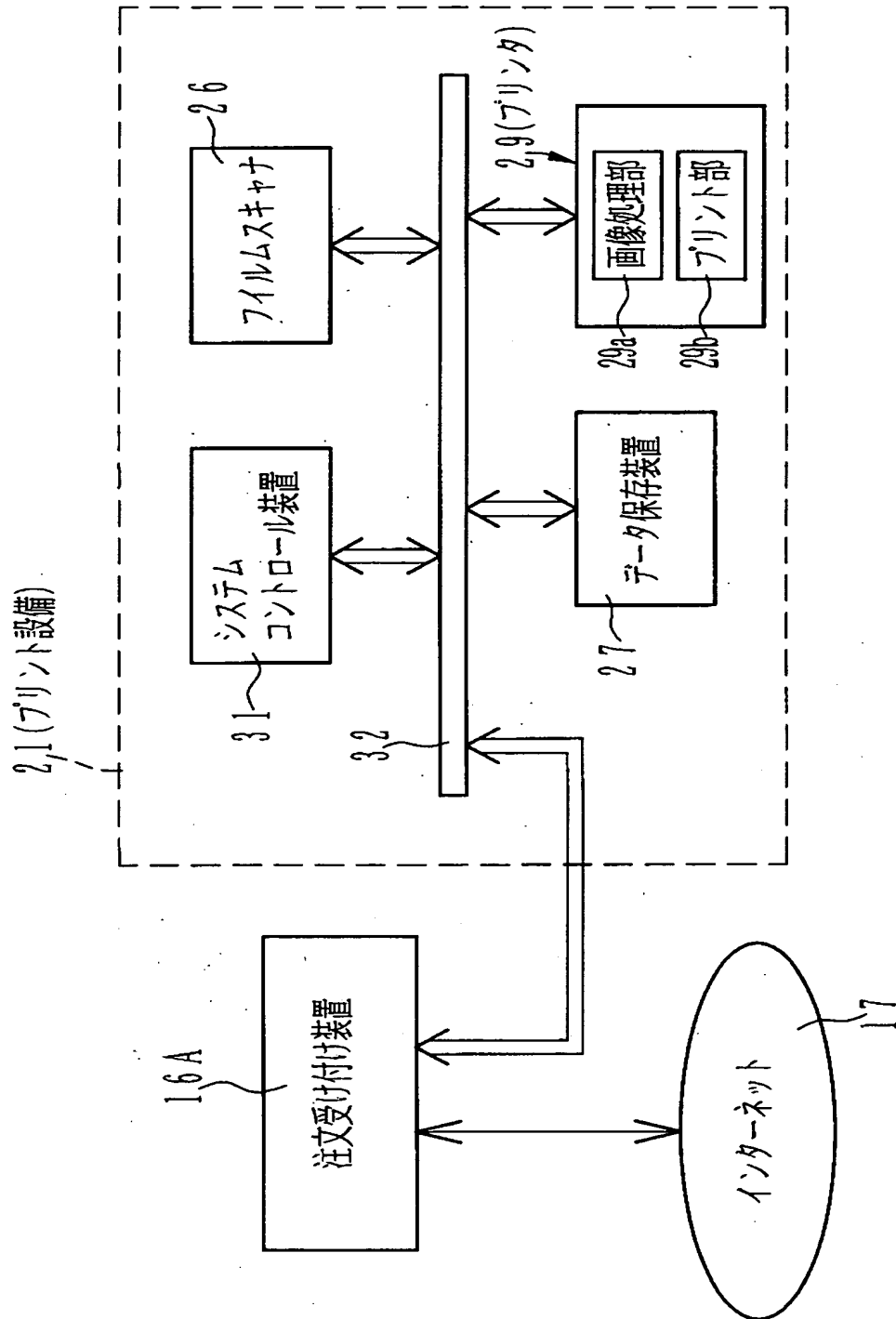
- 10 サービスネットワーク
- 16 注文受け付け装置
- 21, 22, 23, 24 プリント設備
- 51 注文画面
- 56 サービス選択領域
- 57 個別項目指定領域
- 58 共通項目指定領域

【書類名】 図面

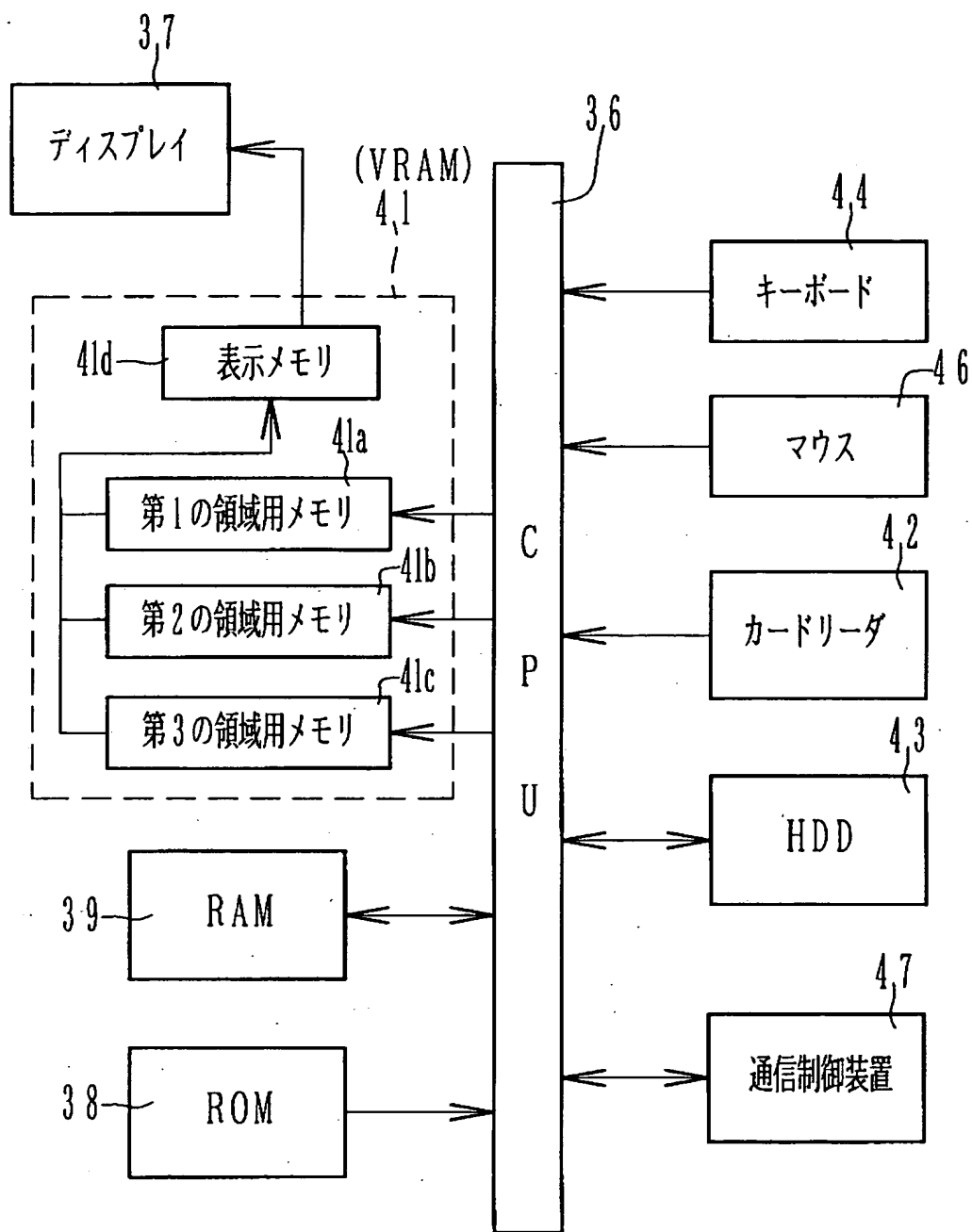
【図 1】



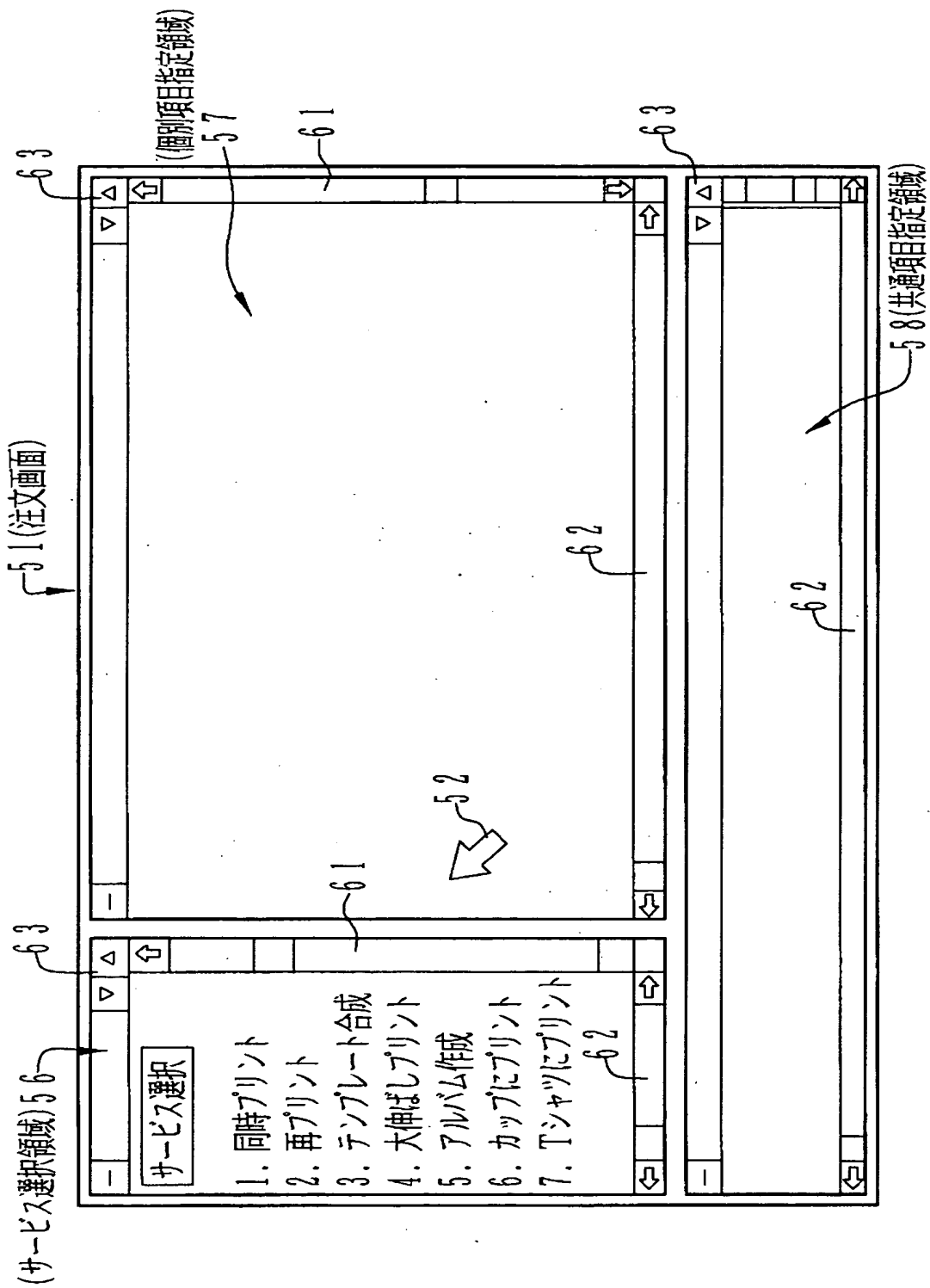
【図 2】



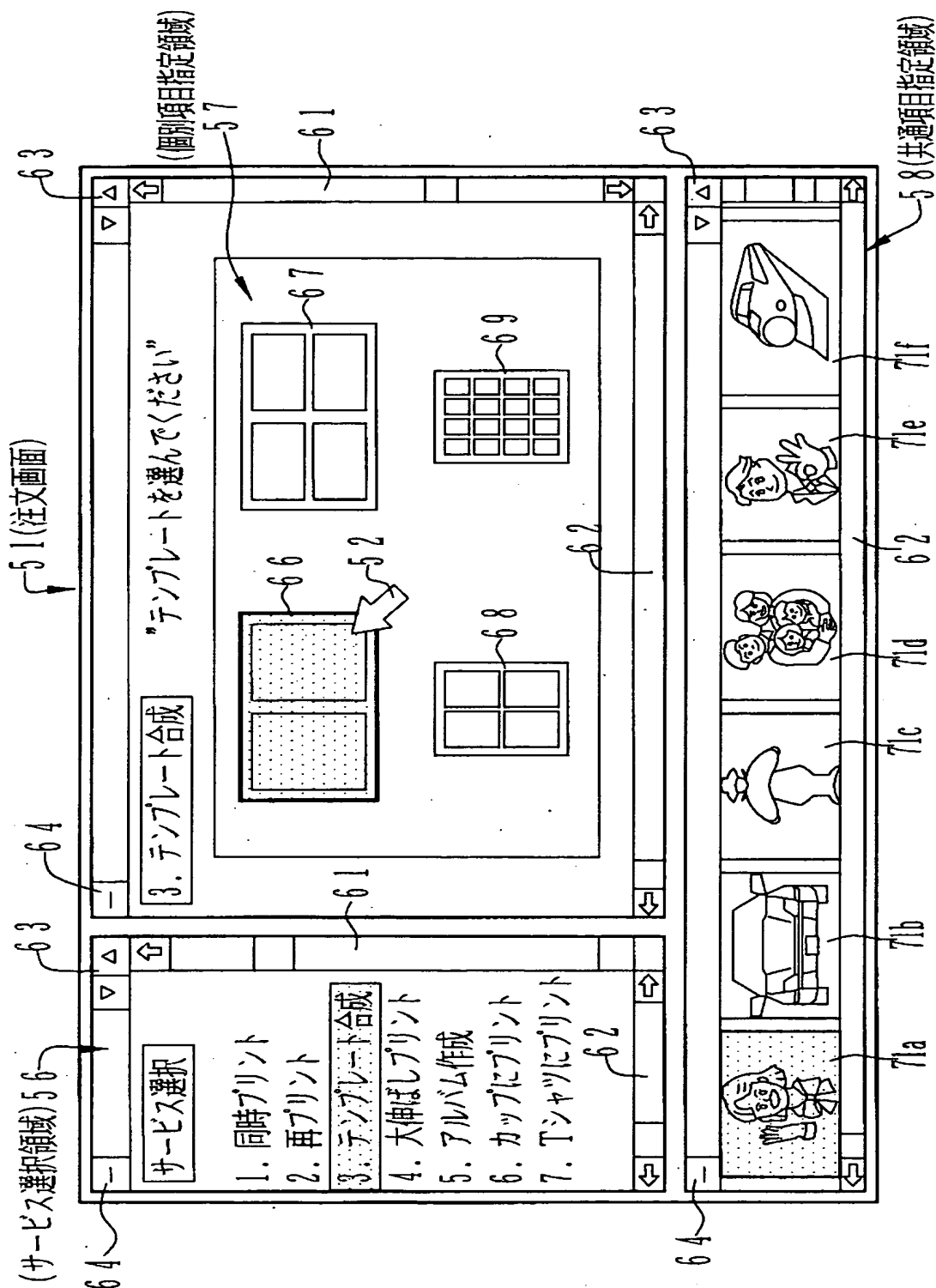
【図 3】



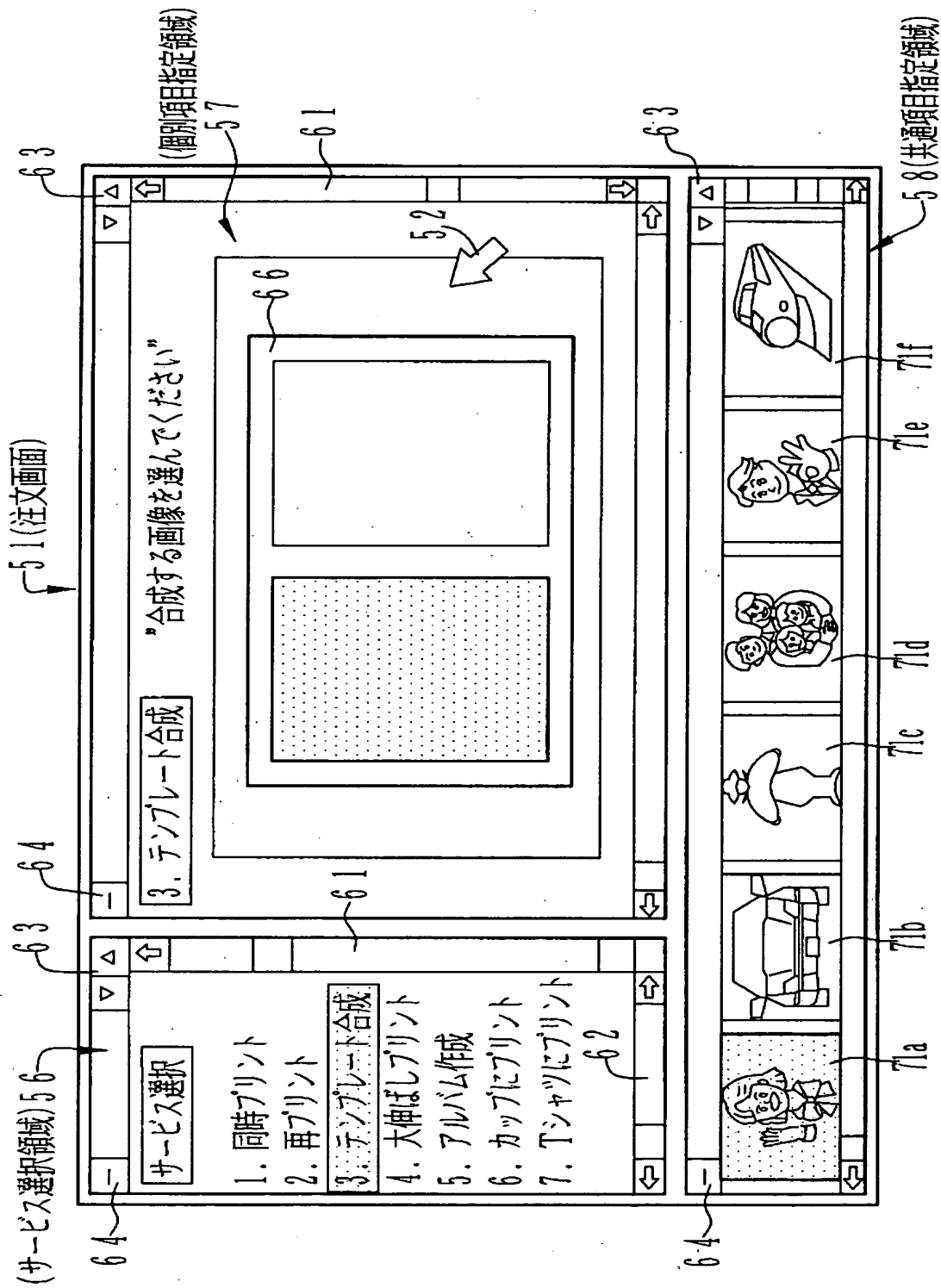
【図 4】



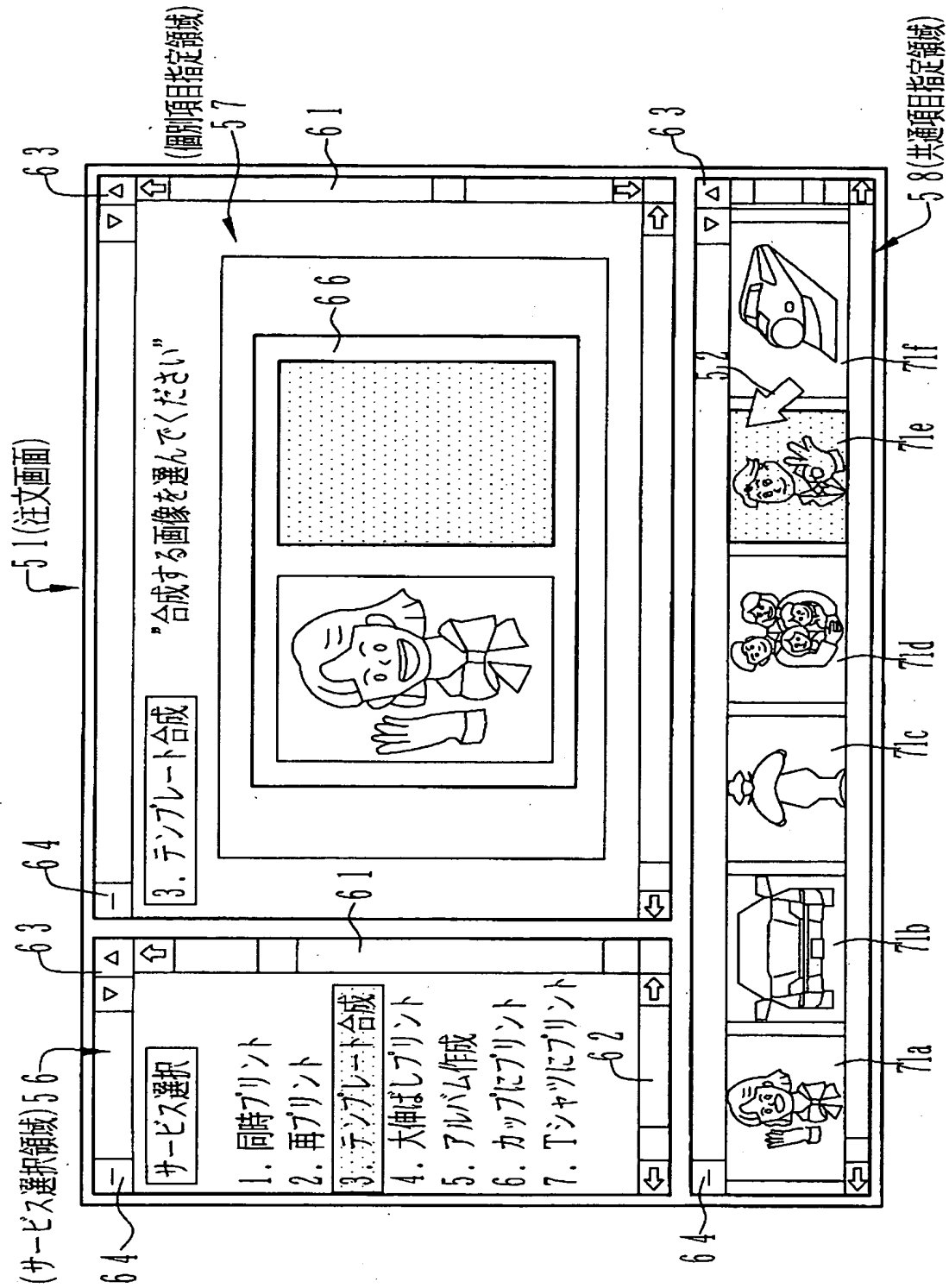
【図5】



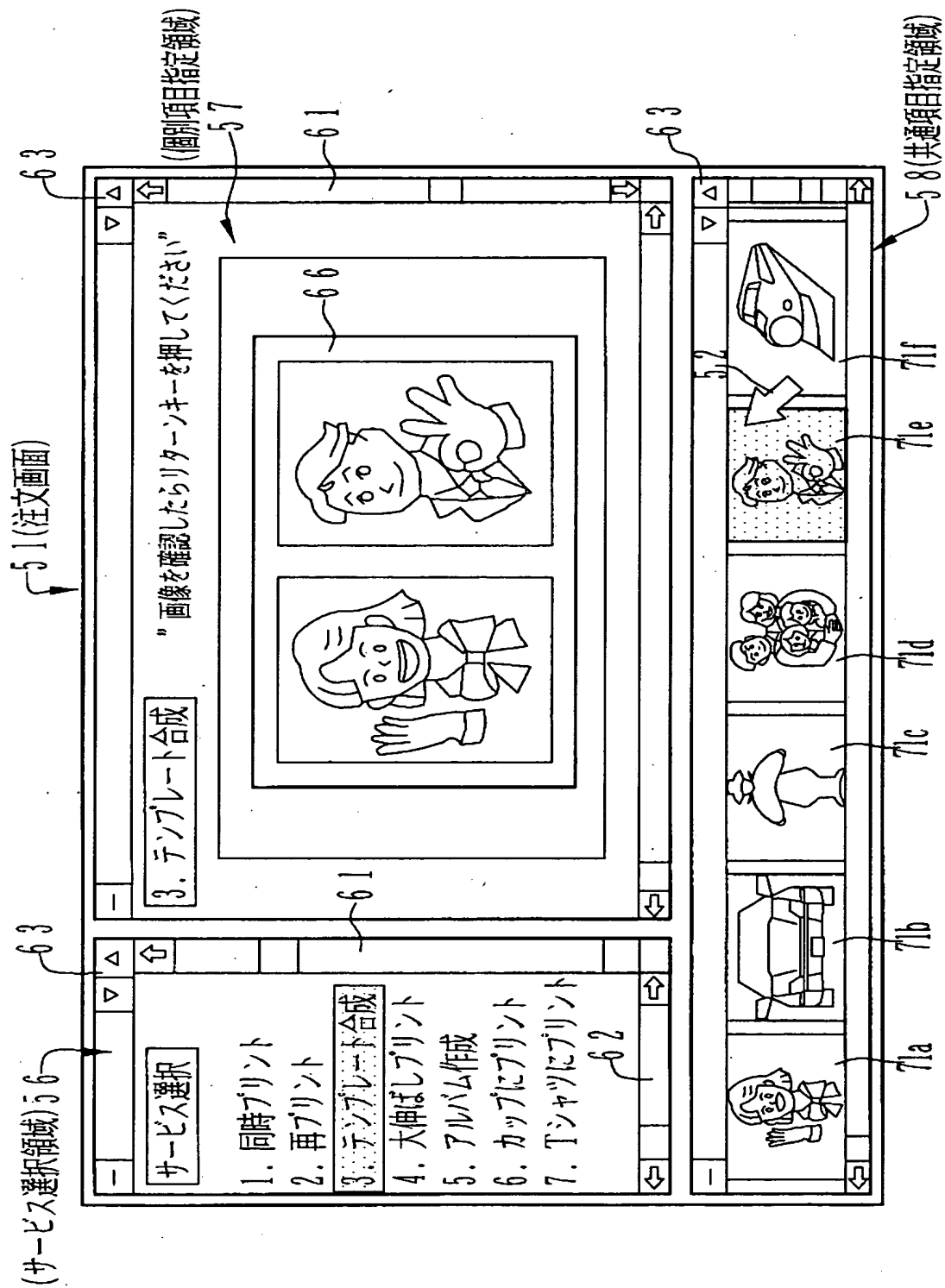
【図 6】



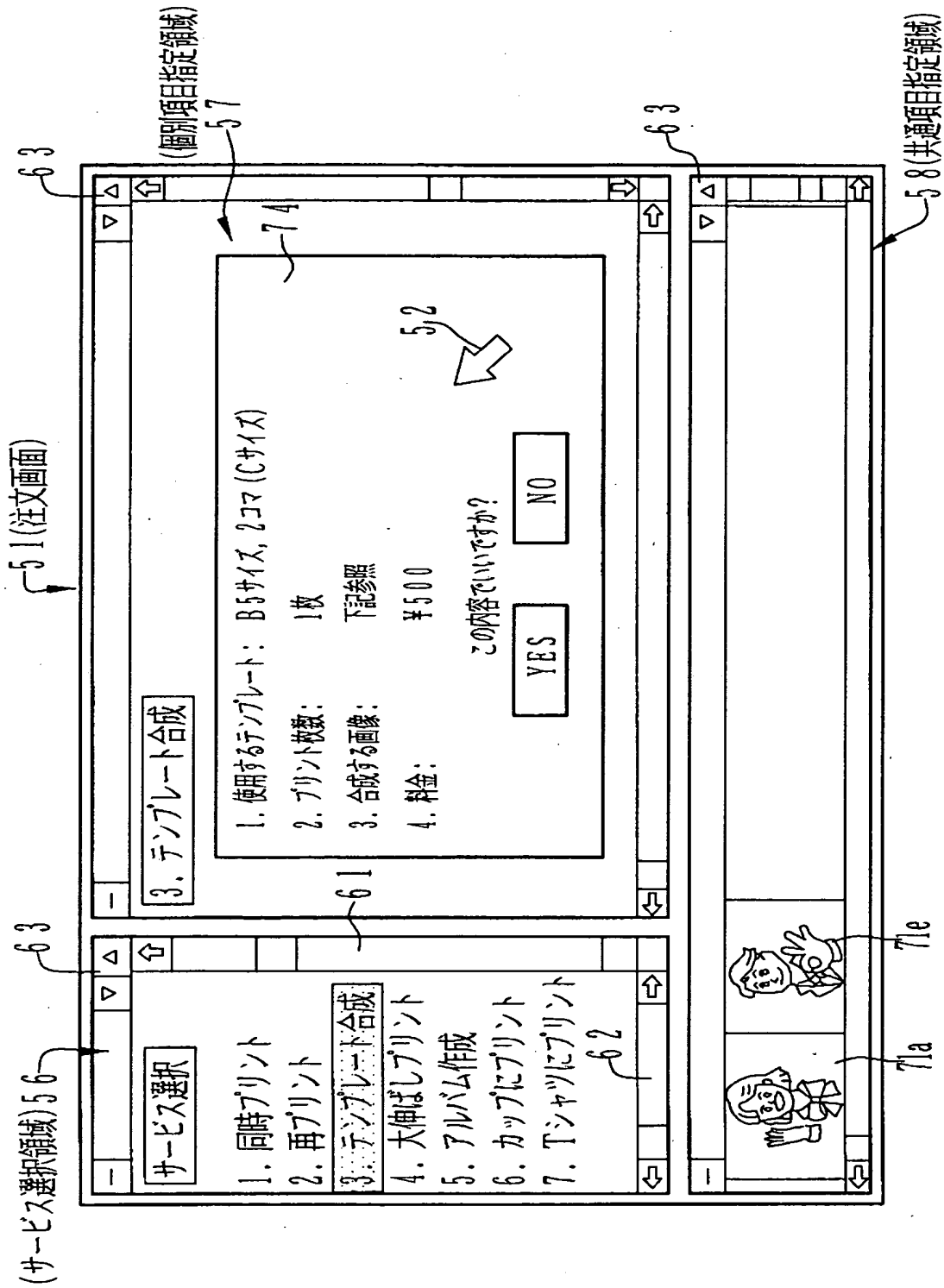
【図7】



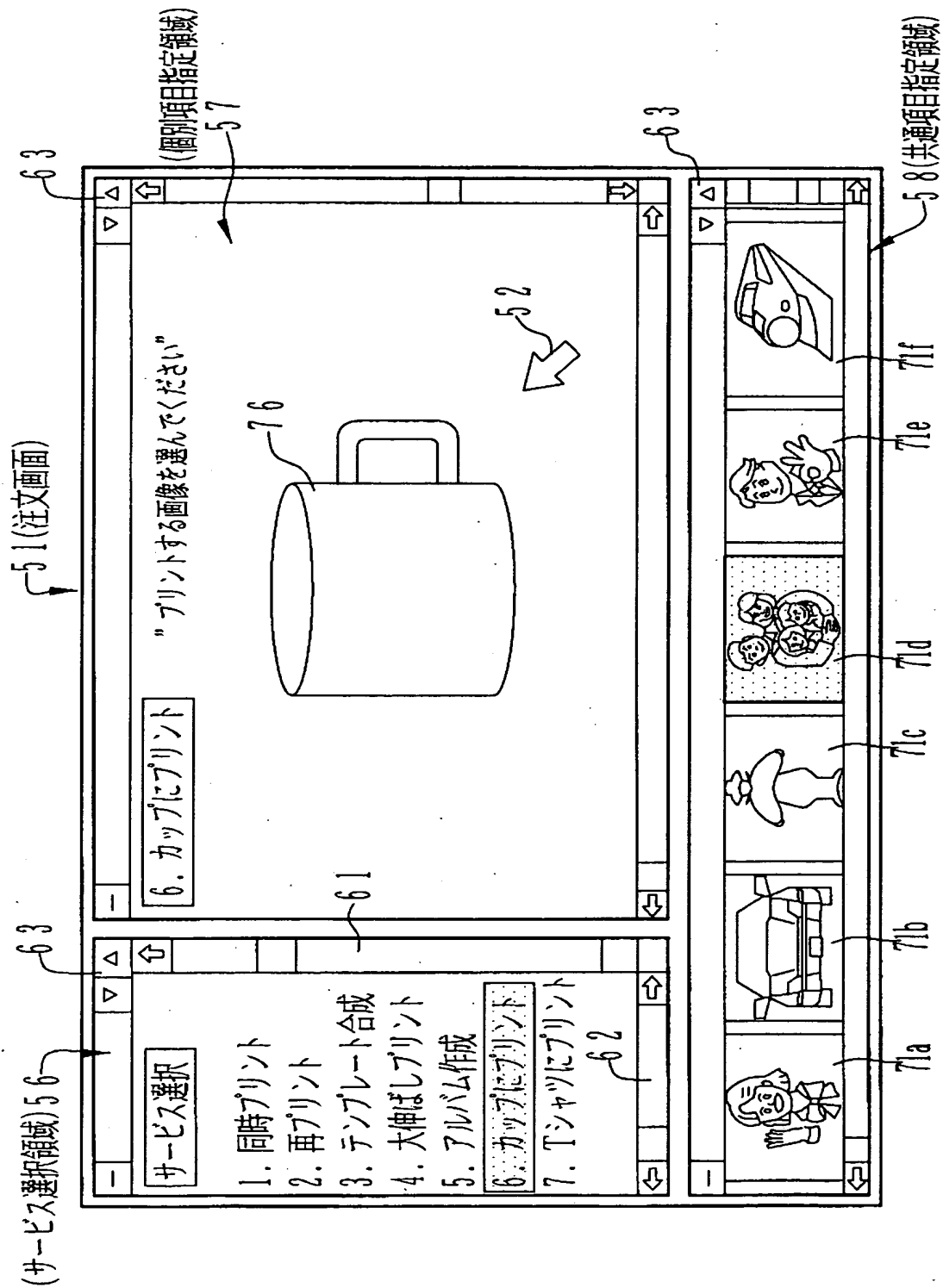
【図8】



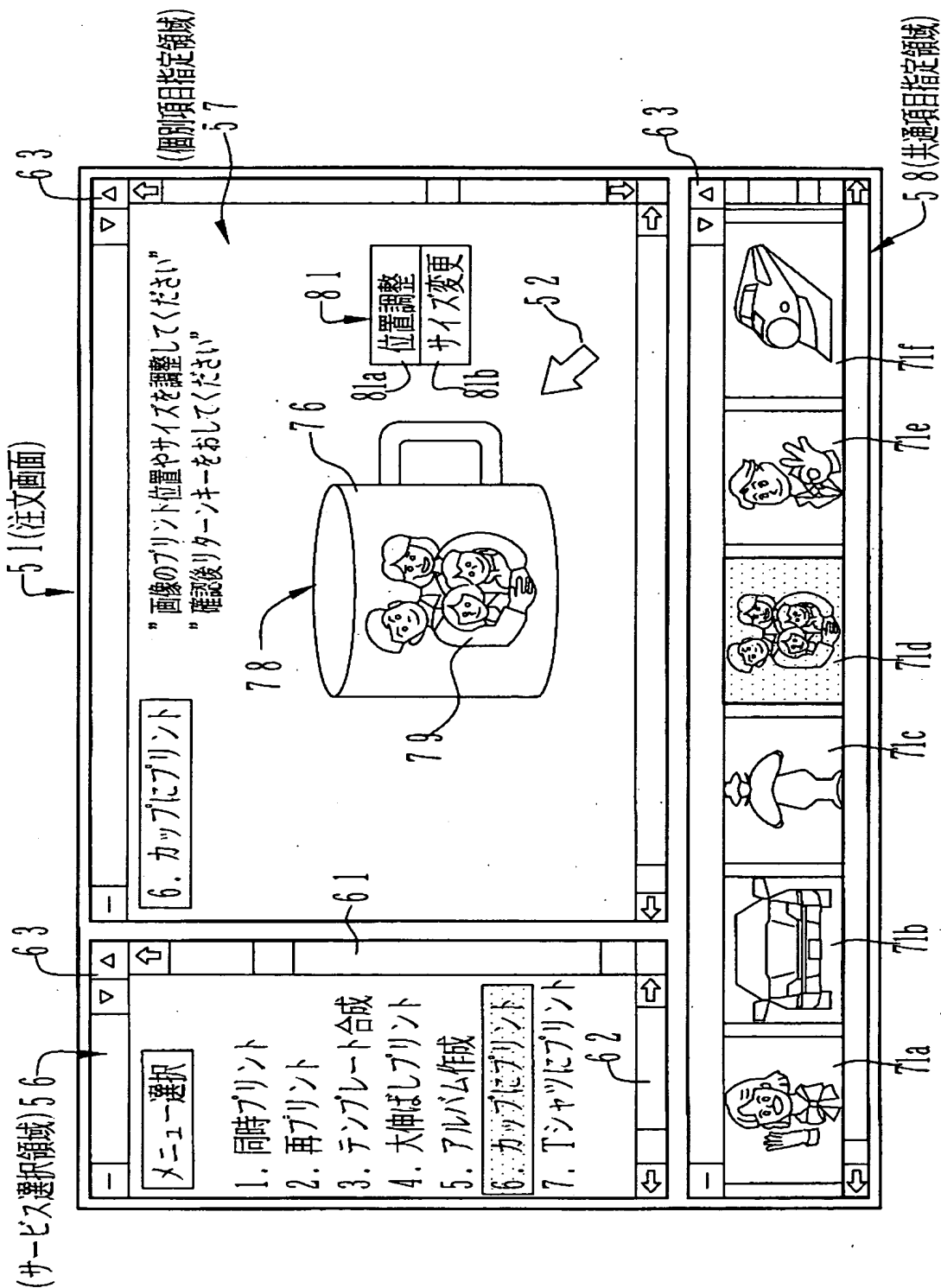
【図9】



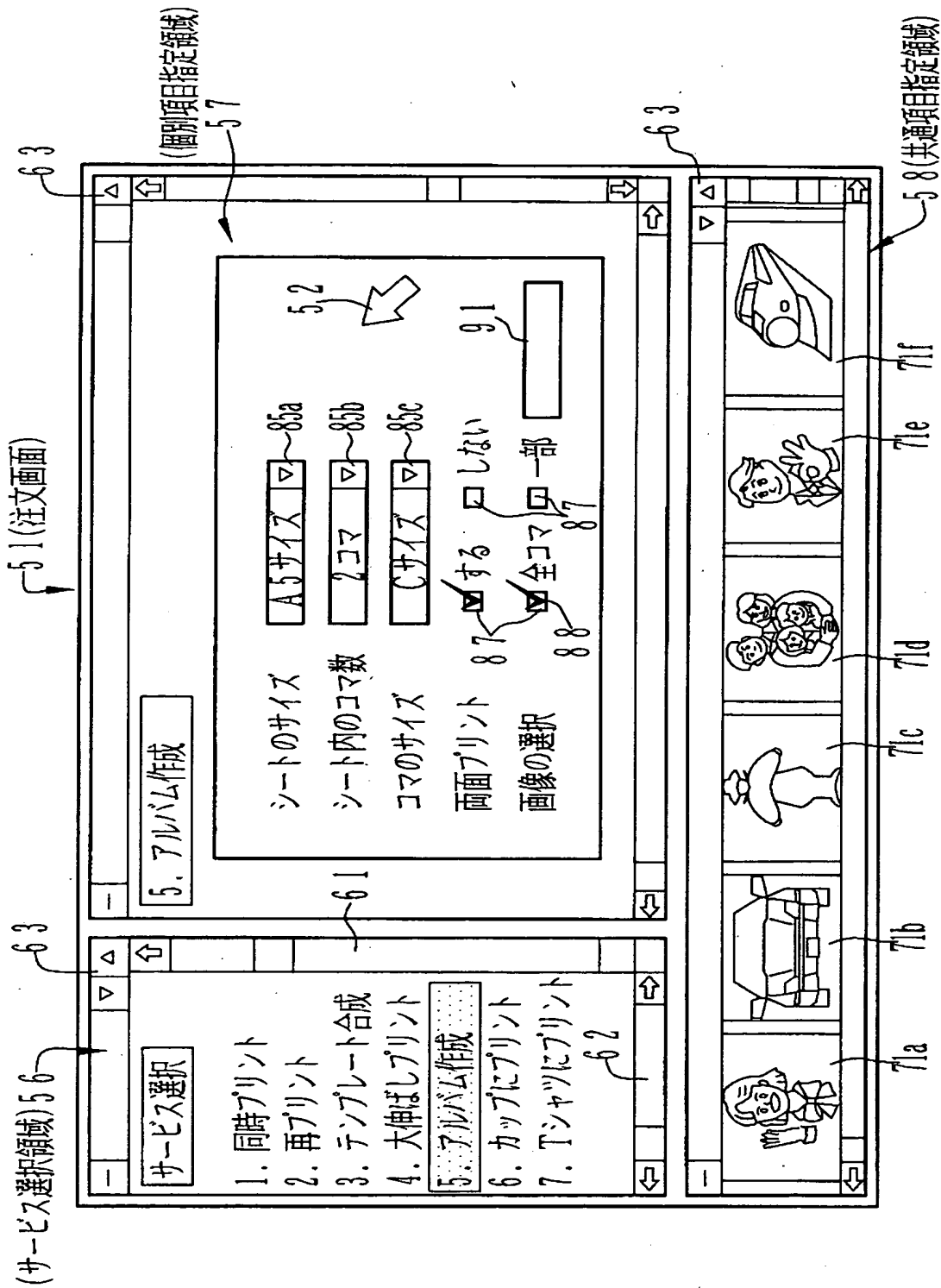
【図10】



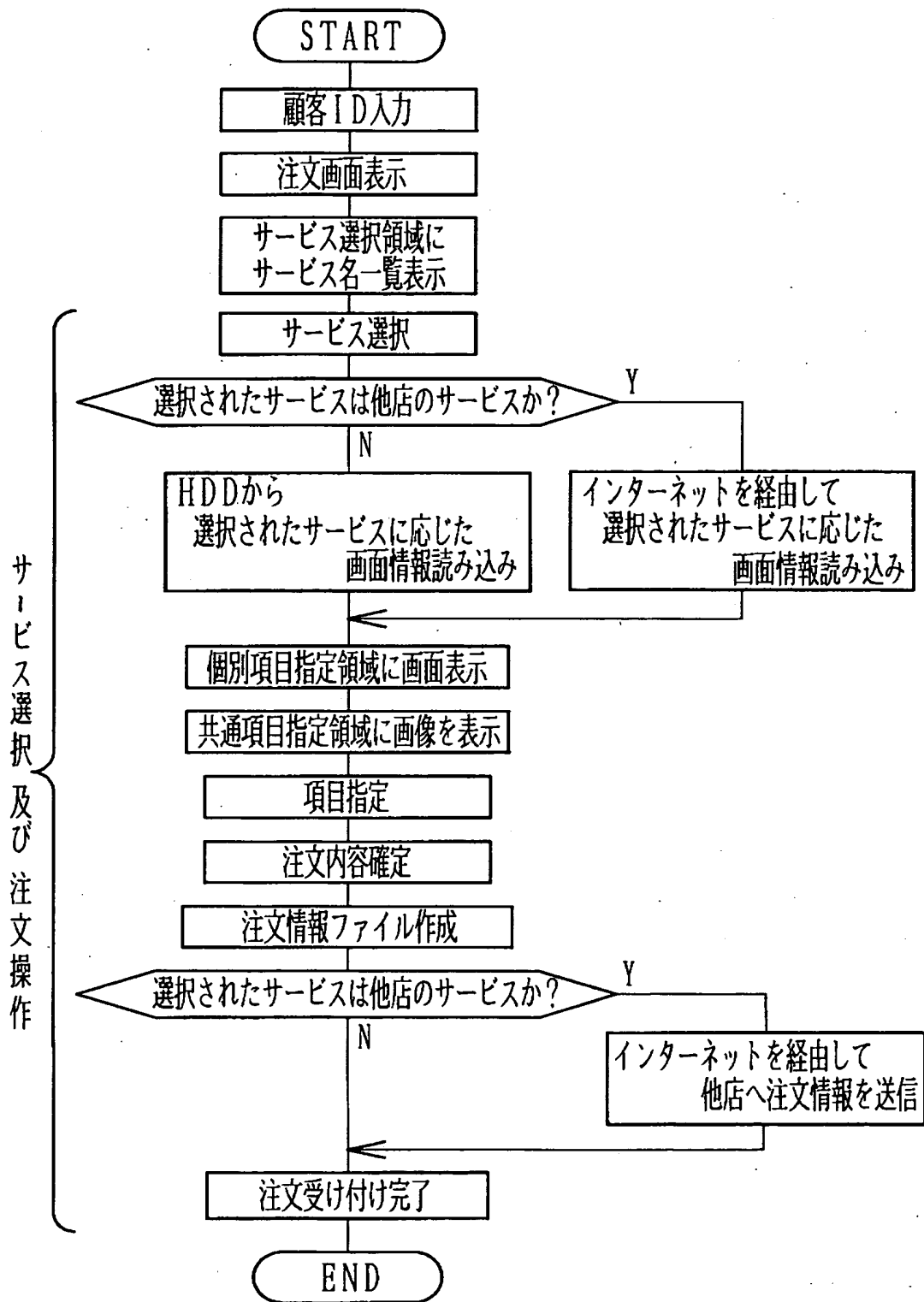
【図 11】



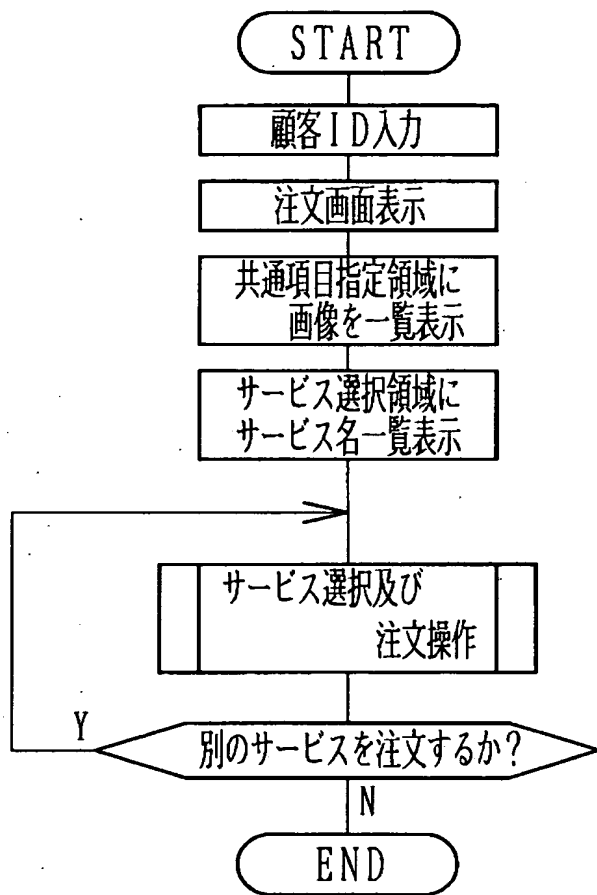
【図12】



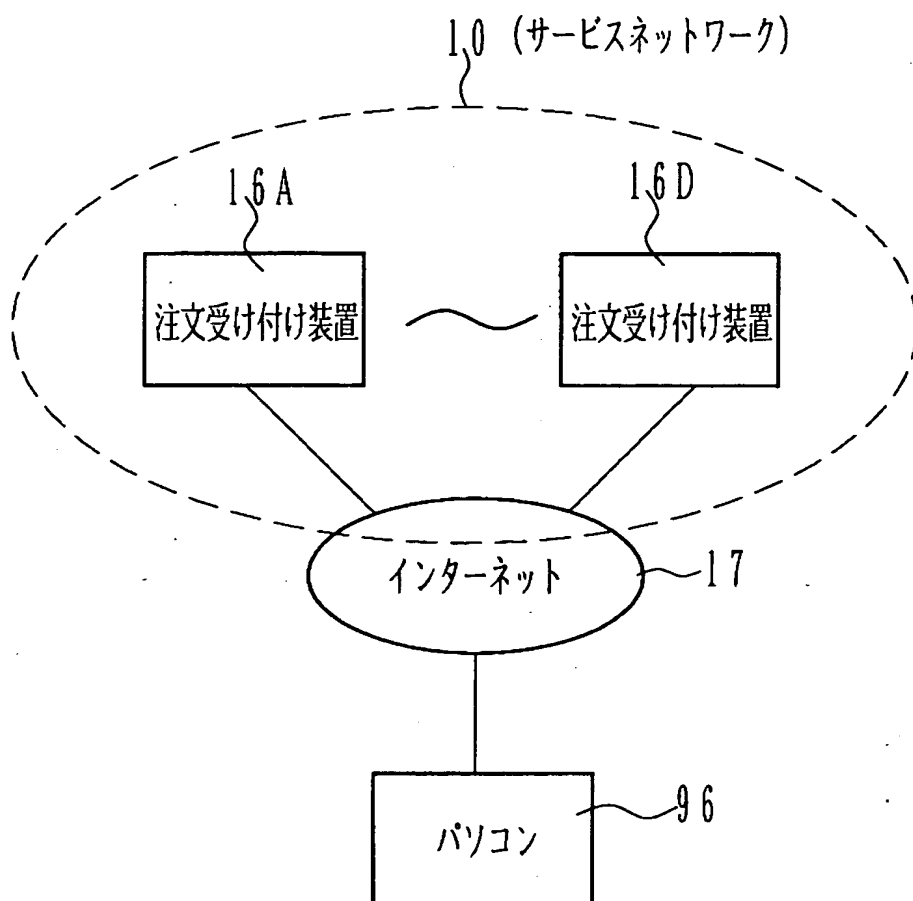
【図 13】



【図 1 4】



【図 1 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 注文画面から行うサービスの注文操作を簡単にする。

【解決手段】 注文画面 5 1 は、サービス選択領域 5 6 と、個別項目指定領域 5 7 と、共通項目指定領域 5 8 とからなる。サービス選択領域 5 6 に、異なる内容の複数のプリントサービスを一覧表示する。この中から注文するプリントサービスを選択させる。個別項目指定領域 5 7 には、選択されたテンプレート合成サービスの注文内容を特定する項目指定画面を表示する。また、共通項目指定領域 5 8 に、顧客が持ち込んだ記憶媒体から読み込んだ全ての画像を一覧表示する。これらの画像の中から、プリントする画像を指定させる。この共通項目指定領域 5 8 は、選択されたサービスに関わらず共通に使用される。

【選択図】 図 5

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社